

# Cacoo エンタープライズ アップデートマニュアル

(ver 6.0.2)

(株)ヌーラボ  
2023年9月26日 24版

# 更新履歴

| 版  | 更新日         | 更新内容               |
|----|-------------|--------------------|
| 1  | 2013年01月17日 | 初版(対応バージョン1.52)    |
| 2  | 2013年05月17日 | 第2版(対応バージョン1.54)   |
| 3  | 2014年03月27日 | 第3版(対応バージョン1.60)   |
| 4  | 2014年06月24日 | 第4版(対応バージョン1.61)   |
| 5  | 2015年05月28日 | 第4版(対応バージョン1.63)   |
| 6  | 2015年12月01日 | 第5版(対応バージョン1.72)   |
| 7  | 2016年02月24日 | 第6版(対応バージョン1.76)   |
| 8  | 2018年01月18日 | 第7版(対応バージョン2.01)   |
| 9  | 2018年11月08日 | 第8版(対応バージョン2.02)   |
| 10 | 2020年04月10日 | 第9版(対応バージョン3.00)   |
| 11 | 2021年03月29日 | 第10版(対応バージョン4.0.0) |
| 12 | 2021年09月02日 | アップデート手順の記載を改善     |
| 13 | 2021年09月06日 | 第13版(対応バージョン4.0.1) |
| 14 | 2021年12月13日 | 第14版(対応バージョン4.0.2) |
| 15 | 2021年12月17日 | 第15版(対応バージョン4.0.3) |
| 16 | 2021年12月20日 | 第16版(対応バージョン4.0.4) |
| 17 | 2022年06月27日 | 第17版(対応バージョン5.0.0) |
| 18 | 2022年06月29日 | 第18版(対応バージョン5.0.1) |
| 19 | 2022年07月12日 | 第19版(対応バージョン5.0.2) |
| 20 | 2022年07月22日 | 第20版(対応バージョン5.0.3) |
| 21 | 2022年09月29日 | 第21版(対応バージョン5.0.8) |
| 22 | 2023年05月22日 | 第22版(対応バージョン6.0.0) |
| 23 | 2023年08月31日 | 第23版(対応バージョン6.0.1) |
| 24 | 2023年09月26日 | 第24版(対応バージョン6.0.2) |

# 目次

## [パッケージ内容](#)

### [アップデートに伴う機能などの変更点\(6.0.0\)](#)

#### [エディターの機能改善](#)

##### [図形ライブラリの表示刷新](#)

##### [共有ダイアログのデザイン変更](#)

##### [SVGインポート機能の改善](#)

##### [図形リンク機能の追加](#)

##### [スナップ機能の追加](#)

##### [テーブル機能の改善](#)

#### [図形・テンプレートの更新](#)

### [アップデート手順](#)

#### [\(2.01 以降から\)](#)

##### [1.バックアップ](#)

##### [2.データベースの更新](#)

##### [3.Cacoo環境の更新](#)

#### [アップデート手順\(1.76以前から\)](#)

##### [1.バックアップ](#)

##### [2.PostgreSQLのバージョンアップ](#)

##### [3.データベースの更新](#)

##### [4.追加ソフトウェアのインストール](#)

##### [5.Cacoo環境の構築](#)

##### [6.Apache HTTP Serverのリバースプロキシの変更](#)

#### [ユーザー環境の変更点\(1.76以前から\)](#)

##### [HTML5版エディタについて](#)

##### [対象環境](#)

##### [Windows \(バージョン 7 以降\)](#)

##### [Mac OS X](#)

##### [機能の変更点](#)

### [アップデートチェックリスト](#)

### [お問い合わせ](#)

# パッケージ内容

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| cacoo-docker/setenv.sh          | Cacoo環境設定シェルスクリプト                                  |
| cacoo-docker/.env               | Cacoo環境設定ファイル                                      |
| cacoo-docker/docker-compose.yml | Cacoo環境用Dockerファイル                                 |
| cacoo-docker/cert/*             | Cacoo環境用証明書ファイル                                    |
| cacoo-docker/jobs/*             | Cacoo環境用job設定ファイル                                  |
| cacoo-docker/logging/*          | Cacoo環境用ログ設定ファイル                                   |
| cacoo-docker/icons/*            | Cacoo環境用アイコンファイル                                   |
| database/*.sql                  | データベース作成用SQL                                       |
| misc/blazeds_patch.zip          | BlazeDSの修正ファイルのパッチ<br>※インストールには不要です。               |
| misc/Acknowledgments.txt        | Cacooが利用しているオープンソースソフトウェア<br>の情報<br>※インストールには不要です。 |
| update/*.sql                    | アップデート用SQL   |

## パッケージ展開例

```
# mkdir /root/temp  
# unzip cacoo-enterprise-6.0.0.zip -d /root/temp/
```

# アップデートに伴う機能などの変更点(6.0.0)

バージョン6.0.0へのアップデートにより、バージョン5.0.Xから以下の機能などが追加・更新されています。

## エディターの機能改善

エディター(図の編集画面)の機能がより使いやすいものに改善されています。

### 無限キャンバス

図形の移動やスクロールなどでキャンバスサイズを超える場合には自動的に作図できる範囲が拡大されるようになりました。シートサイズを固定した場合はそのシートの外側を自由に活用でき、フリーサイズのシートを使用した場合にはシートの境界を意識することなく臨機応変に自由な方向へ図形を増やしていただくことが可能になりました。

機能の詳細については以下のリリースブログを参照してください。

<https://cacoo.com/ja/blog/expand-editor-size/>

### グラフ機能の刷新

今回12種類のグラフを新たに追加しました。中でもバブルチャートやピラミッド型のグラフ、タイムラインなどが追加されたことでより幅広いデータの可視化が可能になりました。

機能の詳細については以下のドキュメントを参照してください。

<https://support.cacoo.com/hc/ja/articles/360011481593-%E3%82%B0%E3%83%A9%E3%83%95%E6%A9%9F%E8%83%BD>

### アイコン機能

CacooにGoogle社が提供するオープンソースのアイコンフォントである「Google Material Icons」を図形として利用できる機能が追加されました。

機能の詳細については以下のドキュメントを参照してください。

<https://support.cacoo.com/hc/ja/articles/14835481826329-%E3%82%A2%E3%82%A4%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%81%AE%E8%BF%BD%E5%8A%A0>

### テンプレートデザインの刷新(英語版のみ)

テンプレートのデザインが刷新されました。(リリース時点では英語版のみ)テンプレートの使い方の説明文などが新たに追加されたデザインになって、使いやすく改善されました。また、合わせてテンプレートを挿入するパネルのUIも刷新されました。

## 図形・テンプレートの更新

[cacoo.com](https://cacoo.com)の2023年4月時点のデータにあわせて、図形・テンプレートを更新しました。

# アップデート手順 (2.01 以降から)

## 1. バックアップ

1. Cacaoの起動や停止を実行するディレクトリに移動します。  
("docker-compose.yml"ファイルが配置されているディレクトリです)
2. 一度、Cacaoを停止します。
3. データベースのバックアップをとります。

### コマンド例

```
# cd cacao-docker
# docker-compose down
# mkdir /root/temp/backup-3.00
# pg_dump -h localhost -U postgres -c cacao >
/root/temp/backup-3.00/cacao.dump
```

## 2. データベースの更新

[配布物] update/enterprise\_migrate\_6.0.0.sql、database/stencils.sql、database/templates.sql を使いテーブルとデータを更新してください。

注意: バージョン2.01からアップデートする場合

バージョン2.01からアップデートする場合、update/enterprise\_migrate\_6.0.0.sqlより先に update/enterprise\_migrate\_3.00.sql、update/enterprise\_migrate\_4.0.0.sql、update/enterprise\_migrate\_5.0.0.sql、update/enterprise\_migrate\_5.0.1.sqlを適用してください。

### コマンド例

```
# cp /root/temp/cacao/update/*.sql /var/lib/pgsql/
# cp /root/temp/cacao/database/stencils.sql /var/lib/pgsql/
# cp /root/temp/cacao/database/templates.sql /var/lib/pgsql/
# su - postgres
$ psql cacao
cacao=# \i enterprise_migrate_6.0.0.sql
cacao=# \i stencils.sql
cacao=# \i templates.sql
cacao=# \q
```

## 3. Cacao環境の更新

1. [配布物] cacao-docker/docker-compose.yml ファイル、[配布物] cacao-docker/certs ディレクトリー、[配布物] cacao-docker/jobs ディレクトリー、[配布物] cacao-docker/logging ディレクトリー、[配布物] cacao-docker/icons ディレクトリーを、新しいファイルで上書きします。また、[配布物] cacao-docker/setenv.sh ファイルを、docker-compose.yml ファイルと同じディレクトリにコピーします。

2. `setenv.sh`を実行して設定の更新を行います。`setenv.sh`は対話型対話形式でCacooの設定を行うので、表示される設定内容に応じて、Cacooを稼働させる環境に応じて設定してください。前バージョンの設定と変わらないものは、現在の設定値がデフォルトの値として表示されるので、変更がなければそのままEnterキーを押してください。`setenv.sh`により、`.env`設定ファイルが更新されます。

#### コマンド例

```
# cp /root/temp/cacoo/cacoo-docker/docker-compose.yml .
# cp -r /root/temp/cacoo/cacoo-docker/cert .
# cp -r /root/temp/cacoo/cacoo-docker/jobs .
# cp -r /root/temp/cacoo/cacoo-docker/icons .
# cp -r /root/temp/cacoo/cacoo-docker/logging .
# cp /root/temp/cacoo/cacoo-docker/setenv.sh .
# ./setenv.sh
Configure your Cacoo Enterprise.
...
```

3. 一部特殊な設定を`.env`ファイルに行っている場合は、`.env`ファイルをテキストエディターで開いて変更してください。特殊な設定内容は以下の通りです。

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| CACOO_CONTEXT_PATH          | trueに設定している場合 <code>.env</code> で以下のように設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• "CACOO_URL"と "CACOO_SOCKET_URL"の末尾に "/cacoo"を追記する。</li><li>• "CACOO_DASHBOARD_CONTEXT_PATH"を"/cacoo/app"とする。</li></ul> |
| CACOO_PORT                  | HTTPSを使う場合など、リバースプロキシを用いる場合は、内部のポート番号を指定する。  |
| CACOO_GOOGLE_DRIVE_AUTOSEND | すべての図を自動的にGoogle Driveに送信する機能を利用する場合はtrueに設定する。通常のGoogle Drive連携のみを使う場合は不要。  |

4. Google Apps連携、Google Drive連携を利用している場合は下記のファイルをバックアップから戻してください。
  - Google Apps連携設定ファイル  
{tomcatのディレクトリ}/webapps/ROOT/WEB-INF/client\_secrets\_oauth2\_apps.json
  - Google Drive連携設定ファイル  
{tomcatのディレクトリ}/webapps/ROOT/WEB-INF/client\_secrets.jsonこれらのファイルを、Cacooの環境構築時の `/app-conf` ディレクトリにコピーします。
5. Apache HTTP Serverのリバースプロキシを経由してCacooにアクセスしている場合には、リバースプロキシの設定に"/graphql-event/"のエンドポイントの設定を追加する必要があります。

## 設定例

```
...
RequestHeader set X-Forwarded-Proto "http"
ProxyRequests off
ProxyPreserveHost on
ProxyPass /editor-messaging/ ws://localhost:80/editor-messaging/
ProxyPassReverse /editor-messaging/ ws://localhost:80/editor-messaging/
ProxyPass /graphql-event/ ws://localhost:80/graphql-event/
ProxyPassReverse /graphql-event/ ws://localhost:80/graphql-event/
ProxyPass / http://localhost:80/
ProxyPassReverse / http://localhost:80/
...
```

この例で、ポート番号80は"CACOO\_PORT"の設定に応じて変更してください。Cacooを/cacooのコンテキストで運用している場合("CACOO\_CONTEXT\_PATH"をtrueに設定している場合)、以下のように設定してください。

## 設定例

```
...
RequestHeader set X-Forwarded-Proto "http"
ProxyRequests off
ProxyPreserveHost on
ProxyPass /cacoo/editor-messaging/ ws://localhost:80/cacoo/editor-messaging/
ProxyPassReverse /cacoo/editor-messaging/
ws://localhost:80/cacoo/editor-messaging/
ProxyPass /cacoo/graphql-event/ ws://localhost:80/cacoo/graphql-event/
ProxyPassReverse /cacoo/graphql-event/ ws://localhost:80/cacoo/graphql-event/
ProxyPass /cacoo/ http://localhost:80/cacoo/
ProxyPassReverse /cacoo/ http://localhost:80/cacoo/
...
```

6. 再度Cacooを起動します。

### AWS CLIバージョン2の場合

```
# export AWS_ACCESS_KEY_ID=*****
# export AWS_SECRET_ACCESS_KEY=*****
# aws ecr get-login-password --region ap-northeast-1 | docker login
--username AWS --password-stdin
631054961367.dkr.ecr.ap-northeast-1.amazonaws.com
```

### AWS CLIバージョン1の場合

```
# export AWS_ACCESS_KEY_ID=*****
# export AWS_SECRET_ACCESS_KEY=*****
# aws ecr get-login --region ap-northeast-1 --no-include-email | sh -
```

# アップデート手順(1.76以前から)



インストールされているパスによって、操作するディレクトリ、ファイルが異なります。本ドキュメントではルートにインストールされた例(表の上段)を記述します。

| インストールされているパス             | バックアップ、削除するディレクトリ             | 配置するファイル  |
|---------------------------|-------------------------------|-----------|
| http://(host名:ポート)/       | {tomcatのディレクトリ}/webapps/ROOT  | ROOT.war  |
| http://(host名:ポート)/cacoo/ | {tomcatのディレクトリ}/webapps/cacoo | cacoo.war |

なお、従来必要であった以下のソフトウェアは今回のバージョンより不要になります。そのままでも動作に影響はありませんが、必要に応じてアンインストールを行ってください。

- Tomcat
- Wkhtmltopdf / wkhtmltoimage
- ImageMagick
- GraphicsMagick
- pdf2ps

## 1. バックアップ

tomcatを停止します。データベースとアプリケーションのバックアップをとります。アプリケーションは{tomcatのディレクトリ}/webapps/ROOT/以下のファイルをとっておいてください。

### コマンド例

```
# /opt/tomcat7/bin/shutdown.sh
# mkdir /root/temp/backup-1.76
# pg_dump -h localhost -U postgres -c cacoo >
/root/temp/backup-1.76/cacoo.dump
# cp -r /opt/tomcat7/webapps/ROOT /root/temp/backup-1.76
```

なお、既存のtomcat環境はアップデート後のCacooでは利用しません。設定情報などを保持するため、バックアップを保持してください。

## 2. PostgreSQLのバージョンアップ

CacooではPostgreSQL 12での動作確認を行っております。必要に応じてアップグレードを実施してください。

PostgreSQLのアップグレードについては、PostgreSQLのマニュアルを参照してください。

## 3. データベースの更新

[配布物] update/enterprise\_migrate\_2.01.sql、update/enterprise\_migrate\_2.02.20180425.sql、update/enterprise\_migrate\_2.02.20181109.sql、update/enterprise\_migrate\_3.00、update/enterprise\_migrate\_4.0.0、update/enterprise\_migrate\_5.0.0、update/enterprise\_migrate\_5.0.1、update/enterprise\_migrate\_6.0.0、database/stencils.sql、database/templates.sqlを使いテーブルとデータを更新してください。

### コマンド例

```
# cp /root/temp/cacoo/update/*.sql /var/lib/pgsql/
# su - postgres
$ psql cacoo
```

```
cacoo=# \i enterprise_migrate_2.01.sql
cacoo=# \i enterprise_migrate_2.01.20180425.sql
cacoo=# \i enterprise_migrate_2.02.20181109.sql
cacoo=# \i enterprise_migrate_3.00.sql
cacoo=# \i enterprise_migrate_4.0.0.sql
cacoo=# \i enterprise_migrate_5.0.0.sql
cacoo=# \i enterprise_migrate_5.0.1.sql
cacoo=# \i enterprise_migrate_6.0.0.sql
cacoo=# \i stencils.sql
cacoo=# \i templates.sql
cacoo=# \q
```

#### 注意:migrateファイルについて

現在ご利用中のバージョン番号以降のmigrateファイルは、すべて順番に適用してください。

## 4.追加ソフトウェアのインストール

Cacooのアップデートをインストールするには、以下のソフトウェアを新規にインストールする必要があります。それぞれ、「インストールマニュアル」を参照のうえインストールを行ってください。

- AWS CLI(Command Line Interface)
- Docker

## 5.Cacoo環境の構築

今回のバージョンのCacooの稼働環境は、Cacooに必要なソフトウェアを含めてDocker上に構築します。構築手順については、「インストールマニュアル」を参照のうえ、行ってください。その際、以下のファイルで設定を行った内容は、「setenv.sh」での設定値および「.env」ファイルに反映させるようにしてください。

- cacoo.dicon
- cacoo.properties
- jdbc.dicon
- mail.dicon
- web.properties

加えて、Google Apps連携、Google Drive連携を利用している場合は下記のファイルをバックアップから戻してください。

- Google Apps連携設定ファイル  
{tomcatのディレクトリ}/webapps/ROOT/WEB-INF/client\_secrets\_oauth2\_apps.json
- Google Drive連携設定ファイル  
{tomcatのディレクトリ}/webapps/ROOT/WEB-INF/client\_secrets.json

これらのファイルを、Cacooの環境構築時の /app-conf ディレクトリにコピーします。

## 6.Apache HTTP Serverのリバースプロキシの変更

CacooをApache HTTP Serverのリバースプロキシを経由して利用している場合には、リバースプロキシの設定に以下追加の設定が必要です。

...

```
RequestHeader set X-Forwarded-Proto "http"
ProxyRequests off
ProxyPreserveHost on
ProxyPassMatch /editor-messaging/api/v2/diagrams/(.*)/event/ws.json
ws://localhost:80/editor-messaging/api/v2/diagrams/$1/event/ws.json
ProxyPassReverse /editor-messaging/api/v2/diagrams/(.*)/event/ws.json
ws://localhost:80/editor-messaging/api/v2/diagrams/$1/event/ws.json
ProxyPass /app/messaging ws://localhost:80/app/messaging
ProxyPassReverse /app/messaging ws://localhost:80/app/messaging
ProxyPass /graphql-event/ ws://localhost:80/graphql-event/
ProxyPassReverse /graphql-event/ ws://localhost:80/graphql-event/
ProxyPass / http://localhost:80/
ProxyPassReverse / http://localhost:80/
...
```

「ProxyPass」および「ProxyPassReverse」に"/editor-messaging/"と"/graphql-event/"に関する設定を追加します。指定するURLは、実際のCacooが稼働しているサーバーアドレス、ポート番号のものに変更してください。Cacooを/cacooのコンテキストで運用している場合、以下のように設定してください。

```
...
RequestHeader set X-Forwarded-Proto "http"
ProxyRequests off
ProxyPreserveHost on
ProxyPassMatch /cacoo/editor-messaging/api/v2/diagrams/(.*)/event/ws.json
ws://localhost:80/cacoo/editor-messaging/api/v2/diagrams/$1/event/ws.json
ProxyPassReverse /cacoo/editor-messaging/api/v2/diagrams/(.*)/event/ws.json
ws://localhost:80/cacoo/editor-messaging/api/v2/diagrams/$1/event/ws.json
ProxyPass /cacoo/app/messaging ws://localhost:80/cacoo/app/messaging
ProxyPassReverse /cacoo/app/messaging ws://localhost:80/cacoo/app/messaging
ProxyPass /cacoo/graphql-event/ ws://localhost:80/cacoo/graphql-event/
ProxyPassReverse /cacoo/graphql-event/ ws://localhost:80/cacoo/graphql-event/
ProxyPass /cacoo/ http://localhost:80/cacoo/
ProxyPassReverse /cacoo/ http://localhost:80/cacoo/
...
```

なお、443番ポート(HTTPS)で運用する場合には、  
「RequestHeader set X-Forwarded-Proto 」には「"https"」を指定してください。

# ユーザー環境の変更点(1.76以前から)

## HTML5版エディタについて

このバージョンから、エディタ(図の編集画面)がFlashを使ったものから、Flashを使わないHTML5版のものに変更になります。

これまで作成した図については、HTML5版で編集するには一度データの変換を行う必要があります。データの変換は、未変換の図を編集するときに行うことができます。図のデータの変換は、以下の変更を伴います。

- 一度変換した図は、再度Flash版で編集したり変換前に戻すことはできません。
- 共有している図の場合、共有メンバー全員がHTML5版を利用することになります。

## 対象環境

HTML5版はFlash Playerのインストールは不要ですが、動作対象のOSとブラウザのバージョンが従来と異なります。HTML5版は以下のブラウザが対象です。

### Windows (バージョン 7 以降)

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge (Chromium)

※Internet Explorerはすべてのバージョンで動作対象外です。

### Mac OS X

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Safari 10.1以降

## 機能の変更点

HTML5版では、Flashと以下の点で一部機能が異なります。

- Cacao忍者との連携が無くなり、PDFエクスポート等の機能はOSやブラウザの機能で代替するようになります。
- Flashが動作しない環境では、PCにインストールされているフォントが自動で判定されないため、手動で更新する必要があります。
- ブラウザに設定されている最小文字サイズよりも小さなサイズの文字を利用している場合、その文字は設定どおりのサイズで表示されません。

詳しくは、以下のページを参照してください。

<https://cacao.com/ja/blog/cacao-html5-launch-announcement/>

# アップデートチェックリスト

アップデート後に問題があった場合、こちらのチェックリストを確認してください。  
問題が解決しない場合、次項の [お問い合わせ](#) をご確認の上お問い合わせください。

| 確認事項 |  |
|------|--|
|      | AWS CLI のバージョン1.14以上 または 2.xがインストールされている   |
|      | Docker のバージョン17.09.1以上がインストールされている   |
|      | PostgreSQL のバージョン12がインストールされている  |
|      | CacooのDocker環境からPostgreSQLにアクセスできるようにネットワークの設定がされている。同一サーバー上でもDockerの内部ネットワークIPアドレスからの接続が許可されるようにPostgreSQLが設定されている。       |
|      | {tomcatのディレクトリ}/webapps/ROOT/WEB-INF/client_secrets_oauth2_apps.json<br>ファイルを /app-conf に配置している (Google Apps連携を利用している場合のみ) |
|      | {tomcatのディレクトリ}/webapps/ROOT/WEB-INF/client_secrets.json<br>ファイルを /app-conf に配置している (Google Drive連携を利用している場合のみ)            |
|      | /cacooコンテキストを使用する場合、必要な設定を.envファイルに行っている   |
|      | リバースプロキシ配下でCacooを運用する場合、必要な内部ポート番号の設定を.envファイルに行っている<br>また、リバースプロキシの設定の変更を行っている  |
|      | データベースに指定のSQLをすべて適用している  |

## お問い合わせ

お問い合わせは <https://cacoo.com/ja/contact> のお問い合わせフォームからお送りください。

Cacooが正常に動作しない場合のお問い合わせについては、お問い合わせの際に以下のファイルを添付いただきますようお願いいたします。

- ログファイル
- .envファイル (※セキュリティ情報を削除したもの)
- Apacheの設定情報 (※Apacheを通してリバースプロキシを設定している場合のみ)

[ログファイルのデフォルト設定]

※詳細はインストールマニュアルを参照してください。

- [ログの保存先] docker-compose.yml があるディレクトリと同階層の`log`ディレクトリ (./log)
- [ログを保持する日数] 7日